

## ( 行政視察 ) ・ 政務活動 ・ 議員研修 ) 報告書

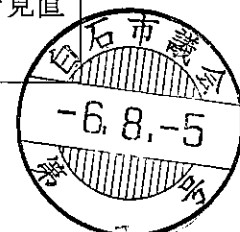
令和 6年 8月 5日

白石市議会議長 松野久郎 殿

議員氏名 大内 卓也

下記のとおり行いましたので報告いたします。

期 間	令和 6年 7月24日 (水) ~ 7月25日 (木)
調査・研修先	長野県須坂市、大町市
調査事項 (研修事項)	1. インターチェンジ周辺地区開発について (須坂市) 2. 公共交通計画及び公共交通施策について (須坂市) 3. 鳥獣害対策について (大町市)
対応者・講師等	1. 神林 久雄 (須坂市 まちづくり推進部 まちづくり課) 2. 山下 智史 (須坂市 まちづくり推進部 まちづくり課) 3. 傳刀 章雄 (大町市 地域振興部 農林水産課 庶務係)
概 要 ① 背景・目的 ② 内容・特色 ③ 主な質疑 ④ 考察 (感想、課題、 政策提言等)	1. インターチェンジ周辺地区開発について (須坂市) ①本市スマートインターチェンジ周辺地区開発後の周辺エリア活性化に関する情報の収集 ②須坂長野東インターチェンジ周辺開発は2015年より民間企業の株式会社長工により提案・開発が進められ2025年秋にはイオンモール開業を目指す。須坂市は周辺道路やインフラ整備、土地利用調整などで支援措置を行なっている。 ③市内から商業施設までのアクセス手段を伺う。 ④民間企業が主体で計画し、須坂市がバックアップをしている体制であり、今回の本市の施策とは内容が異なる。しかし、スマートインター完成後のエリア拡大が見込まれた時、市として民間企業のバックアップすべき内容等として十分に知識を得ることができた。完成後の須坂市の動向も今後調査していきたい。  役所内の雰囲気非常に明るく感じられた。役所の方々がわざわざ手を止めて、笑顔で挨拶を返してくれたことが深く印象に残った。これだけで市への印象がガラッと変わる。簡単なことではあるが自分自身も改めて意識しなければと、自らを見直す良いきっかけができた。



<p>概要</p> <p>① 背景・目的</p> <p>② 内容・特色</p> <p>③ 主な質疑</p> <p>④ 考察</p> <p>(感想、課題、政策提言等)</p>	<p>2. 公共交通計画及び公共交通施策について（須坂市）</p> <p>①市民との意見交換において、公共交通機関に関する関心が多く寄せられた。乗合タクシーや路線バスの利用方法を工夫している須坂市に意見を求めた。</p> <p>②路線バスによる持続可能な移動の確保が困難となりつつあるため、地域公共交通の適材適所化によるネットワークの再編を実施した。</p> <p>③運転免許返納者の増減の状況</p> <p>④大学と連携をし、データを活用。停留所・路線のこまめな変更。乗合タクシーの時間帯再考、ICカード導入などあらゆる工夫が感じられた。免許返納者に対して市独自のICカード（3000円）を支給するなどして公共交通利用者を増やす施策も同時に行なっている面は今後本市でも活用できるのではと感じた。</p> <p>3. 鳥獣害対策について（大町市）</p> <p>①各地区で鳥獣害での農作物等への影響が課題となっているためモンキードッグ等の対策を図り、成果を上げている大町市へ意見を求めた。</p> <p>②ICTを活用し、正確かつ効率よく、サルを捕獲を実施して鳥獣害被害を防ぐことに成功している。</p> <p>③モンキードッグについて</p> <p>④ICTを活用することと、サルの特性を熟知していることで戦略的に成果を上げていることが感じ取れた。経費も最小限にするために首輪の使用法や柵の素材、モンキードッグへの見切りなど関心をする内容ばかりであった。</p> <p>また大町市は長閑で、各地域整備の行き届いた清潔感のあるキレイな街並みが印象的であった。本市も観光地として白石川等の浚渫工事、空き家対策など力を入れていく必要があると感じた。</p>
--	--